

いわきの **SANKAKUSAN**
さんかくさん



草野 祐香利
(くさの ゆかり) さん
NPOこみゅーん
理事長

～いわきの“さんかくさん”とは？～
いわきで男女共同参画を推進する活動をしている人。

Q&A

- Q** 現在の活動内容は？
A 2009年に「* NPO法人Commune with助産師」を設立し、NPOこみゅーんとして活動しています。「こみゅーん」はプレ妊娠期からの子育て・女性の健康「Communication&Community」の総称で、平時より防災・減災につながる、子どもに優しい地域共生協創社会をめざしています。
- Q** こみゅーんをはじめたきっかけは？
A 助産師に復帰して間もない2006年、市内の産科医療施設が激減し助産所は皆無の危機にありました。そのような中、妊娠の困惑・出産への戸惑い・子育てに苦しむ女性たちの心や体の悲鳴を聴き、授乳で悩む多くの母親から「相談できる助産師さんはどこにいるの?」「もっと早く教えてほしかった!」という言葉に突き動かされた助産師たちのミッションとして、妊娠中からの健康子育て支援事業が立上り、いわき市起業（現：創業者）支援室で生まれました。
- Q** 活動していて楽しいこと、うれしいことは？
A こみゅーん助産院は今年8月1日に10周年を迎えました。日々、いのちや生き方に向き合い支え合う活動を通して、親子や女性の「心が晴れる。笑顔になれる。」ことが大きな喜びであり、原動力です。* ホームスタートボランティア、賛助会員の皆さまのお力添えにより活動を続けることができていることも嬉しく感謝しています。
- Q** 今後の取組みは？
A これからも、『Happy birth♡全てのいのちが愛しい、子どもと女性に助産師と支えん[えん(援:助け、縁:つながり、円:和・輪、得ん:主体的に得る)を支える]を!』をスローガンに、関係機関や行政と連携して、産後うつ、DVや子ども虐待、いじめ、妊産婦および若者の自死、人工妊娠中絶、性感染症等が無縁の地域となるよう、専門性と親しみのある地域助産師『となりのミッドワيف(女性に寄り添う人=助産師)』を継承し、妊産婦(産前産後)ケアを充実させ、いのちと性の教育を推進していきたいと思っています。人生100年を共に謳歌しましょう。

活動内容等、詳しくはこちらへ <http://cw-jyosanshi.com> NPO法人Commune with 助産師 *
<http://iwasapo.jp> いわきの子育てサポーター検索サイト



私のおすすめの一冊



ココロの匙加減
高橋 幸枝 著

80歳以下を若者といい、自らが100歳で現役精神科医師を務めてきた経験からの人生指南書と言えます。著者の深く重いユーモアのある生き方に感動し、夢や希望・感謝・勇気をもらいました。今・これからの、自分らしく前進し心地よく生きていくヒントを得られる本です。

いわきのさんかくさん 募集

男女共同参画センターでは、「いわきのさんかくさん」を募集しています。
自薦・他薦は問いません。
※詳しくはセンターまで



いわき市男女共同参画情報紙 ウィング
WING
vol.53 2020年10月 発行

編集長：田子恵子
編集委員：内藤麻喜、青田多喜子、佐藤優季

あなたもWINGに参加してみませんか。
ご意見・ご感想をぜひお寄せください。
次回が3月発行です。

▲今号の協力者

発行：いわき市 市民協働部 男女共同参画センター
〒973-8408いわき市内郷高坂町四方木田191番地
tel.0246-27-8694 fax.0246-27-8641
E-mail: danjokyodosankaku@city.iwaki.lg.jp

いわき市男女共同参画センターでは、男女共同参画社会についての啓発、人材育成、情報収集・提供、活動・交流支援を行っています。

